資料２

これまでの検討経緯と今後のスケジュール

第1回委員会（H15.2.17）

シーニックバイウェイ制度導入モデル検討委員会の設置

先進事例（米国シーニックバイウェイ制度）調査結果報告と北海道における導入モデル検討の開始

第2回委員会（H15.4.22）

・モデルルートの選定
・活動団体の募集

米国シーニックバイウェイ制度を参考に、北海道の制度・地域特性を踏まえ、以下について検討。
・理念の整理、２モデルルートを指定し、参加活動団体を募集、試行内容の整理

第3回委員会（H15.7.2）

・活動団体の認定
・評価方法の検討

申請 32 団体を認定。以下の具体的な試行を開始
・地域住民組織中心の運営体制づくりのための試行
・地域活動支援のための各種診断評価の試行

実　施

活動団体：（ＮＰＯなど）
観光振興、沿道景観、環境保全等に係る諸活動
国、北海道、市町村：
ＮＰＯ等への支援、景観整備　等
その他：
（旅行業者、観光協会、「道の駅」等）
ＰＲ、情報発信　等

診断評価

第４回委員会（H16.1.20）

・制度設計の課題整理
・追加団体の募集について

・これまでの検討経緯と今後のスケジュール
・これまでの活動を踏まえた制度設計の課題
・追加団体の募集

第5回委員会（H16.4.下）

追加団体の認定、制度検討等

第6回委員会（H16.12）

制度答申（素案）

（パブリックコメント）

第7回委員会（H17.3）

制度答申

２年間程度の実施・検討期間

シーニックバイウェイ北海道制度（仮称）の創設